

2017年(平成29年)6月3日(土)

空き家利用 提案コンサート

コンサート会場になる空き店舗の大広間と所有者の岡部正高さん夫妻。秋田市河辺戸島



秋田の元料理店できょう開催



人口流出や高齢化などで秋田市では空き家が住宅の8軒に1軒の割合に上り、管理のあり方などが課題に

なっている。こうした中、市内のNPO法人が「空き家の利用を考えるきっかけ」と3日、空き店舗で無料コンサートを開く。主催するのは、空き家対策に取り組む「住まい安心サポート秋田」。午後2時から、同市河辺戸島の戸島鯉クラブで開く。地元住民の芸能グループや河辺地区

出身の大正琴家元、中村翠笙さんらが出演する。

同クラブは以前はコイ料理専門店で、宴会や披露宴などにぎわったが、昨年末に閉店した。約75畳敷きの大広間が会場になる。

所有者の岡部正高さん(75)は「かつてのお客さんへの感謝を込めて協力したい」と話す。

住まい安心サポート秋田は、2015年6月から空き家の売買・賃貸の相談に応じ、空き家の見守りを請け負うなどしてきた。しかし、市街化調整区域内では空き家でも簡単に貸し借りできないなど制度上の問題もあり、空き家の解消はなかなか進まない。佐々木義文理事長(67)は「こんな使い方もあるんだと提案したかった」とコンサートの意図を説明する。

市によると、市内の空き家率は1998年の8.8%から2013年には12.9%に上昇。12年度の調査では、約3千の空き家のうち、隣家や通行人らに危害が及ぶ恐れがある老朽建築物が36あるなど、適正な管理

が課題になっている。

市住宅整備課の山下浩司課長は「空き家の活用を図る住民団体などと連携していきたい」と話す。

コンサートは入場無料。問い合わせは、住まい安心サポート秋田(018・838・4720)へ。

(金井信義)